

新年のご挨拶

対馬市長 財部 能成



新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆さまに
は、ご健勝にて新しい年を迎
えられたこととお慶び申し上
げます。

旧年中は市政全般にわたり、
深いご理解とご支援、ご協力を
賜わり心より厚くお礼申し
上げます。

また、新聞、テレビなどの
外国人による不動産売買の報
道では、市民の皆さまはもと
より全国の皆さまにご心配を
おかけしお詫び申し上げます。

さて、皆さまからの力強い
ご支援をいただき対馬市長に
就任して間もなく10ヶ月にな
るうとしております。就任後

は、疲弊し閉塞感漂う対馬市
の現状を打破し、新たな対馬
を創造するため、懸命に市政
運営に携わってまいりました。

8月には、行政の進め方を
変革し、活力あふれる元気な
地域づくりを進めることを目
的に機構改革を実施し、既存
の行政事務だけを担務する部
署でなく、市長直属で時下の

問題解決を図るため、機動性
のある地域再生推進本部、観
光物産推進本部を新たに設置
したほか、地域再生を目指し
て地域活性化センターを設置
いたしました。

さらに12月には、福岡市に
対馬事務所を開設し、対馬市
の観光や特産品などの情報発
信、観光客や企業誘致に努め
ているところです。

また、選挙マニフェストに
掲げておりました地域マネー
ジャー制度につきましては、

11月にモデル地区として旧町
単位で1カ所ずつ計6カ所を
設け、試行的な取り組みを始
めたところです。本年4月か
らは市内全域で実施し、地域
の皆さまと市職員が共に手を
取り地域力向上と地域ビジョ
ン具現化を目指して参ります。
地域は市民が表に立ち創造し
ていくものだと思います。行
政は火を点す地域に積極的に
支援を行っていきます。

とはいえ、今の対馬市には
様々な課題が山積しています。

サブプライムローンを端に発
した世界的な不況の波も無関
係ではありません。

誘致企業の進出凍結も打ち
出される事例も発生していま
す。このため、企業誘致には
さらに積極的な取り組みが必
要であり、私自身がトップセ
ールスマンとして、対馬の特
性を活かした第一次産業の活
性化に繋がる関連企業の誘致
を図りたいと考えています。

さらに財政状況の細やかな
情報開示を行い、公共施設の
休止はもとより歳出の無駄を
無くすため、行財政改革にも
積極的に取り組んでまいりま
す。

そして、国境の島である特
異的な位置にある対馬市の振
興、定住促進については、既
存の離島振興法などの法制度
では実情に則した振興は困難
であり、国に対して「国境離
島新法」の制定を働きかけ、
新たな振興策の取り組みを行
います。

また、対馬市の森林資源を
活かして、CO2削減を図る
カーボンオフセット事業に取
り組み、関連産業の起業や誘
致を推進し、磯焼けで枯渇が

進む海藻の再生と健全な森林
の育成を行い、豊かな自然資
源を回帰させ対馬市の生き残
りを図りたいと考えておりま
す。百年に一度の大波が押し
寄せていますが、波に飲み込
まれないように市民みんなが
共に手を取り合って立ち向か
っていきましょう。

以上、年頭にあたり所信を
申し上げますが、皆さまに
とって新しい年が幸多い年で
ありますようご祈念申し上げ
新年のご挨拶とさせていただきます。



対馬市議会議長 波田 政和



市民の皆様、あけましておめでとございます。

希望に満ちた輝かしい平成21年の新春を、ご家族おそろいでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。年頭にあたり市議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市政及び議会活動に対して温かいご理解と絶大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

ご承知のとおり昨年はなんと云つても、アメリカのサブプライムローンに端を発する世界的な金融危機が日本に波及し、さらに原油高騰が私た

ちの日常生活を苦しめ、生活に大きな影響を与えました。

また、食品産地偽装問題、円高による輸出減退、大企業の人員整理などを含め、めまぐるしく話題が入り乱れた1年でありました。

平成16年3月に対馬市が誕生して今年で5年になります。が、相変わらず厳しい財政状況が続ぎ、公共工事の大幅な減少や基幹産業である水産業の低迷などによって、島の経済は冷え切った状態が続ぎ、若年層の島外流出、家族全員の流出は一向に止まず過疎化と高齢化が進行しています。

このような世情であります。このようなピンチはチャンスという

言葉のとおり、私たちは市民・行政・議会が一体となり、「国境・自然・歴史と文化」、いわゆる対馬固有の財産、対馬らしさを生かして、ふるさと対馬の再生と発展を目指す必要があるのではないかと決意を新たにしているところであります。

昨年3月に就任した財部市長には、その若い才能と行動力に大いに期待をするものであり、議会と行政は互いに車の両輪のごとく協力し合い、英知を結集して対馬の新しい黎明を迎えるため努力を続ける所存であります。

市議会の1年間を顧みますと、議員発議で対馬の自然環境を保全することを目的としたツシマヤマメコ寄付条例の制定、国境外海離島の地域振興に向けた「防人の島新法の制定」の意見書採択など、島の活性化に向かって対策を講じているところであります。

また、総務文教・厚生・産業建設の3常任委員会は各地域の実情を把握すべく所管事務調査を精力的に実施し、ほかにも国境離島活性化対策・自衛隊誘致増強調査・議会広報

の3特別委員会を設置し、それぞれの専任重要課題に積極的に取り組んでおります。

今年、私たちの任期も5月で満了を迎えます。それまでさらに創意工夫を重ね、市民皆様のご期待に応えるよう最大の努力を傾注する所存でございますので、最後までご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈りいたしまして、年頭のごあいさつといたします。



人事異動

12月31日付退職

柳田政則(総務企画部総務課佐須出張所所長)・原田善紀(福祉保健部南福祉保健セ

ンター所長)・有川元子(会計課峰分室参事兼課長補佐兼峰地域活性化センター地域支援課参事兼課長補佐)

1月1日付異動

氏名後の()内は旧所属

【市長部局】

《総務企画部》 総務課佐須出張所所長(昇任) 桐谷勝江(同出張所参事兼課長補佐) 同出張所主任 神宮茂(農林水産部基盤整備課)

《福祉保健部》 南福祉保健センター所長(昇任) 大川昭敬(同センター主幹)

《峰地域活性化センター》 住民生活課参事兼課長補佐兼佐賀出張所参事兼課長補佐 中村武久(同センター住民生活課)

《会計課》 峰分室主事 米田綾(峰地域活性化センター佐賀出張所)

【教育委員会部局】

《教育委員会部局》 厳原地区生涯学習センター 佐須地区公民館館長(併任) 桐谷勝江(峰学校給食共同調理場参事兼課長補佐(併任)) 中村武久 厳原地区生涯学習センター 佐須地区公民館主任(併任) 神宮茂